

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



武田 豊樹 (茨城/88期)

地元の記念ですからね、一生懸命頑張るだけです。(寛仁親王牌は)結果が出なかったですけど、あきらめないでやるだけです。一年間のシーズンの中で取手記念は大切な開催。(同県の)若いヤツもいますから。地元のラインできっちりやって、みんなでしっかりと頑張っていきたいと思っています。



吉澤 純平 (茨城/101期)

地元なんでGIだと思って、責任をもってやります。地元の選手の誰かが獲れるように。出られないで悔しい思いをしている人もいると思うし、その人たちの分も。松戸からフレームを換えて、セッティングもガラッと変えて、最終日にかけて少しずつ良くなっていった。取手記念でいい形になるようにしていきたい。

掘 僚介 (大阪/109期)

落車の怪我の影響で夏場は苦戦したが、ここに来て調子を一気に上げている。10月熊本記念in久留米の一次予選は前団の混戦を豪快にまくって圧勝。3連単90万円近い超大穴配当を演出している。



庄子 信弘 (宮城/84期)

初S級の今期は毎場所コンスタントに勝ち星を挙げている。10月平塚の最終日は鮮やかにまくって快勝。上がり11秒6の好タイムを叩き出すなどタテ脚は冴えている。S級点を確保するためにもここで活躍したい。



松村 友和 (大阪/88期)

今期に入って2回失格しているが、差し脚は切れている。10月川崎の決勝は高橋築の番手を奪ってまくった川口聖を直線でズブリ。初日からオール連対で待望のS級初優勝を飾った。今のデキなら上位進出が狙える。

KEIRIN EVOLUTION

11/13 (最終日) 6R

KEIRIN EVOLUTION とは

国際ルールになったケイリン
スポーツ性が高くシンプルなルール

次位争いは、経験値の高さで櫻井正孝にまずは期待。アマ時代には自転車競技で鳴らし、エポリユーシオンも昨年7月福井で経験している。近況重視なら中西大だろ。エポリユーシオンでも先手を奪って粘り込むレースが見られるか。2班勢は横一線。位置取り次第で浮上も。

中川 誠一郎で断然

中川誠一郎が断トツ人気を集めよう。スプリントの第一人者として五輪に2大会連続出場。競技から退いた今年も全プロを優勝している。競輪でも、10月久留米での熊本記念で先まくりの平原康を、上がり10秒8で飲み込んで地元エースの責任を果たしたばかりだ。エポリユーシオンなら、初手の位置取りも展開も関係なし。乗り慣れたカーボンフレームで豪脚を披露する。



中川 誠一郎